

プレスリリース

平成27年6月3日  
近畿中国森林管理局  
石川森林管理署

石川県手取川上流の土砂崩壊地に係る現地調査（ヘリコプター）について

5月初旬、石川県白山市尾添<sup>おぞう おおなんじ</sup>大汝国有林において崩壊地が確認され、手取川流域において濁水の発生が続いています。

このため、近畿中国森林管理局石川森林管理署では、今後の崩壊地対策を検討するため、下記のとおり有識者に加え、石川県、白山市の参加を得てヘリコプターによる現地調査を行いました。調査の結果、山腹の崩壊地より泥成分を多量に含んでいる土砂が流出し、濁水の原因となっていることなどを確認しました。（別紙調査概要のとおり）

今後は、白山市ほか地元関係機関と連携・調整を図りながら、必要な土砂崩壊対策を早急に進めて参りたいと考えています。

記

- 1 調査日時  
平成27年6月2日（火）10:00～13:00
- 2 調査箇所  
石川県白山市手取川流域（大汝国有林等）
- 3 有識者  
京都大学大学院 小杉賢一朗准教授  
森林総合研究所 大丸裕武水土保持研究領域長

【問い合わせ先】

石川森林管理署  
次長 仲村 誠  
〒920-1158  
石川県金沢市朝霧台2-21  
TEL：050-3160-6100  
FAX：076-222-6215

近畿中国森林管理局 計画保全部  
治山課長 石井 康彦  
治山技術専門官 河崎 則秋  
〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-75  
TEL：06-6881-3483  
FAX：06-6355-2758

# 崩壊地発生箇所的位置関係

別紙



# 崩壊地周辺の状況について



・当該崩壊地周辺は、奥地に位置し、地形は急峻で、火山性の岩石で覆われており、地質的に脆い特徴が見られた

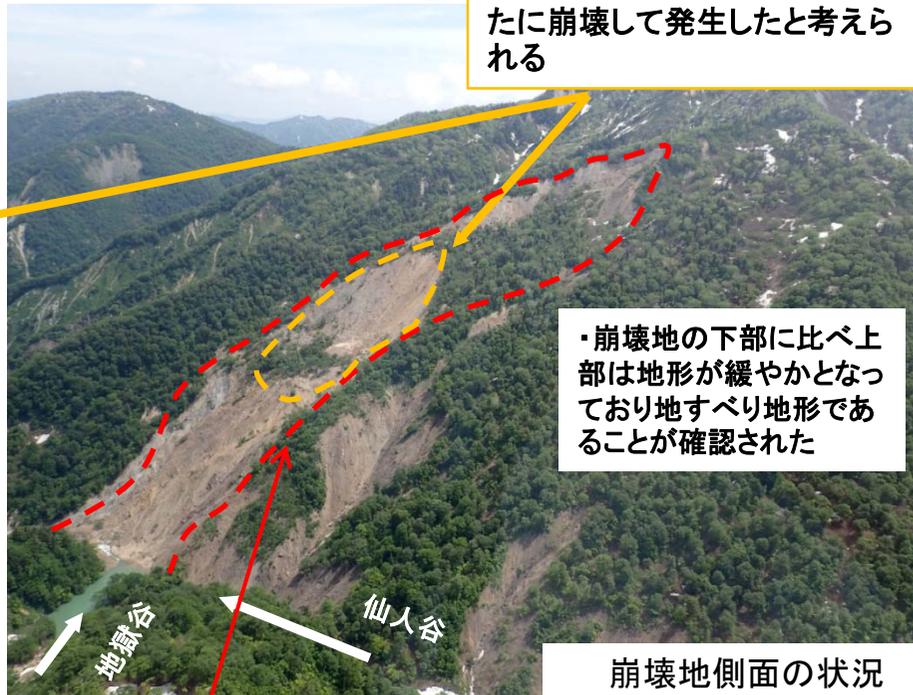
# 崩壊地の状況について①

写真⑤



崩壊地正面の状況

写真⑥



新規崩壊箇所  
・地すべりブロックの一部が新たに崩壊して発生したと考えられる

・崩壊地の下部に比べ上部は地形が緩やかとなっており地すべり地形であることが確認された

崩壊地側面の状況

地すべりブロックの一部が崩壊して発生したと考えられる現在の崩壊地



## 崩壊地の状況について②

写真⑦



- ・泥成分を多量に含んだ土砂が流出し、濁水の原因となっている
- ・崩壊地にも泥成分を含んだ土砂が残留している

写真⑧



- ・流下した土砂の多くは、直下の谷に堆積してとどまっている状態にある

# 河川の状況について

○崩壊地から約8.0km下流に位置する北陸電力三ツ又第一発電所付近

写真⑨【5月20日調査時点】



写真⑩【6月2日調査時点】



※中ノ川の濁りは以前より沈静化が認められる。

## 有識者の主なコメント

- 崩壊地一体は、火山性の岩石が広く分布しており、地質的に脆い特徴がある。  
（写真①～④）
- 新規崩壊箇所は地すべりブロックの一部が崩壊して発生したものと考えられる。（写真⑤、⑥）
- 新規崩壊箇所からは、泥成分を多量に含んだ土砂が流出し、これが濁水の原因となっていると考えられる。（写真⑦、⑧）  
なお、濁りは以前より沈静化が認められる。（写真⑨、⑩）
- 一方、泥成分を多く含んだ土砂が、まだ崩壊地斜面に残っているのが確認されたところであり、それらが浸食されて、流出する可能性がある。（写真⑦）  
また、5月に流出した土砂の多くは、直下の谷に堆積してとどまっている状態にある。（写真⑧）
- このことから、当面は崩壊斜面の対策を行いつつ、流出した土砂対策や梅雨で雨量が増えた時にどの位濁るのか経過観察する必要がある。